

～特別展示～

秘蔵の大久保康雄コレクション大公開！！

大久保康雄先生は、現在の八千代町大字芦ヶ谷（舟戸行政区）に生まれ、安静小学校から父親の仕事の関係で旧制の水戸中学校（現在の水戸一高）へ進学し、慶應義塾大学で英米文学を学ばれた後、職業的な翻訳の世界へと進まれました。

大久保先生の蒔かれた翻訳の種は、私たちのすぐそばでたくさんの花を咲かせています。

今回は、一昨年に大久保先生のご親戚から寄贈していただきました図書と、現代も色あせることのない関連する資料を展示しています。

どうぞ足を止めて、郷土の偉人 大久保康雄先生の作品世界をごゆるりと堪能してください。

※一般書の展示コーナーもお楽しみください。

man をでくのぼうと訳すくらいでないと、ほんとうの翻訳にはならない。辞書なんか道標にすぎないんだ。その向こうには自由闊達の世界がある。翻訳者というのは、その世界で遊ぶ人のことだ。（翻訳家の高橋 豊氏への述懐より）

ピタリと合った訳文というのは一つしかないはずですよ。それを一生かかって探し当てるのが翻訳家の使命だと思います。